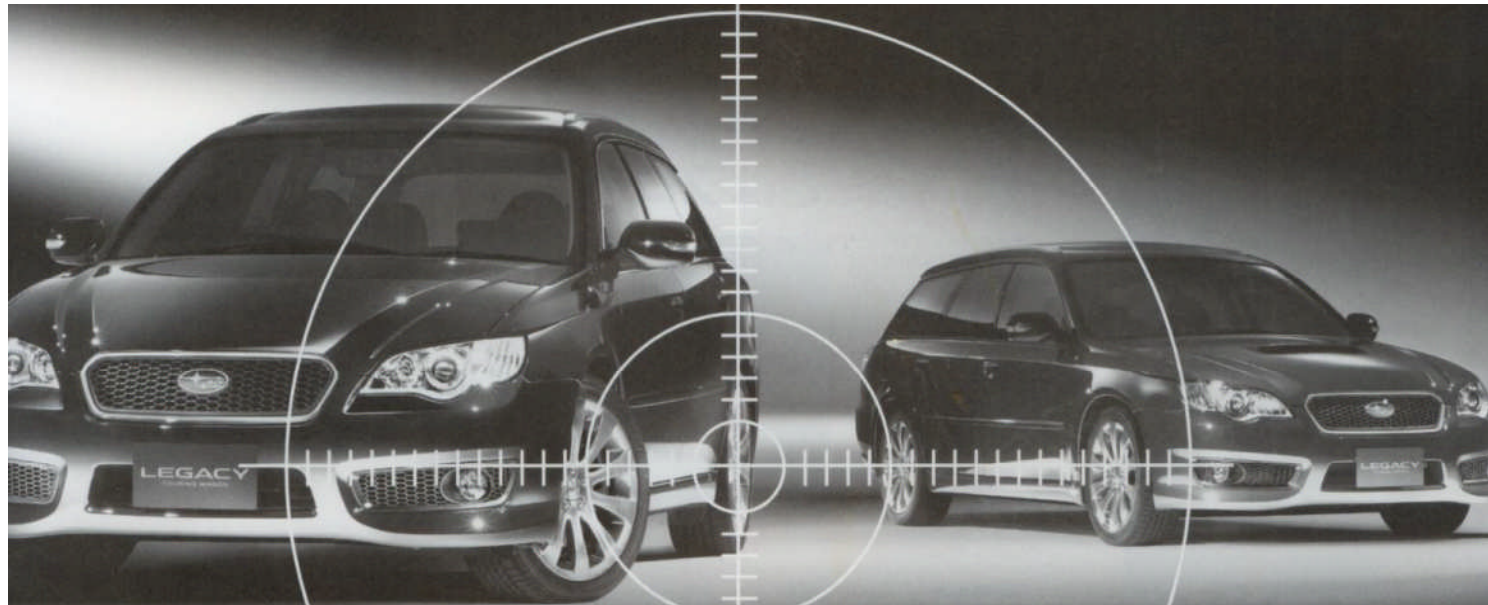




自分のレガシイは 自分で守るしかない

この瞬間にもあなたのレガシイが狙われているかも
それを防ぐにはセキュリティで身を守るしかない！

Text/Koujiro Wakats

ローロックをしておけば大丈夫
そんなことを考えているオーナーはいないだろうか？
じゃあどこまで対策をしているか？
どう聞かれると答えに詰まる人がほとんどでは？
あなたのレガシイを狙う魔の手は
目も鼻も耳も持たない悪意を持って迫ってくる
目の前には純正イモビすら無きに等しい
だからこそセキュリティのプロにまかせたいのだ

や車両の盗難や車上荒らしは毎日のようにどこかで起きているのが現状。仮にちゃんとキーをロックしていても簡単に盗まれてしまう。もちろんレガシイだって例外ではない。本来なら当局がもっと警備や取締りに力を入れてくれればいいのだが、実際にはすべてのクルマに目を配ることは不可能だ。つまり、盗難に関してはオーナーが自衛するしかない、ということになる。

そもそもレガシイは狙われやすいクルマだ。ちょうど前までは同じスバル車でもインプレッサの盗難の方が多かったようだが、最近ではインプレッサはフルモデルチェンジが近づいたことでタマ数が減っている傾向にある。逆にレガシイはどのモデルでも常に安定した販売台数があり、窃盗団も狙いやすいという面もあるようだ。また、車両自体の盗難も決して少なくないが、車上荒らしも多いという。特に狙われるのはカーナビ。レガシイオーナーは社外メーカーの上級モデルを選ぶことが多いこともあり、こうしたパーツ目当てに車上荒しに狙われることが多いという。



純正イモビはある程度の効果を望めるが、プロの窃盗団に対しては万全ではない。奴らは純正の構造など熟知した上で、下準備を重ねて狙ってくるのだから。

ればならない。スバル車はWRCでも世界的に知られていることもあり、海外マーケットでも人気がある。盗難した車両の車体ナンバーを消し、海外で売りさばってしまう……という犯罪も多いようだ。レガシイの現行モデルには純正でイモビライザーも装備されているが、もちろんこれも絶対ではない。実際、BP/BLでも車両盗難に遭っているケースもあるのだから決して安心はできない。

また、レガシイではイモビが標準装備されていないグレードでも、オプション装着のイモビが設定されているが、これも万全というわけではない。専用のカードキーを使用しなければエンジンを始動できないシステムだが、比較的装着が容易で、装着が容易ということは言い換えれば外すのも容易ということだ。どちらかと言えば純正イモビは車両盗難を防止するシステムではあるが、極端な言い方をすれば窃盗犯に対しての単なる警告装置にすぎない、と言えるわけだ。仮に車両盗難を防ぐことができて、車上荒らしに対してはかなりの脆弱なシステムと言わざるを得ない。そこでぜひオススメしたいのが、社外メーカーの盗難防止装置だ。

装置自体は多くのメーカーから市販されており、純正イモビに比べればはるかにセキュリティ度は向上すると思っていだろうか。セキュリティ度を高めるには、犯人がバッテリーを外してもサイレンが鳴りやまないことが必要だ。したがって、装置自体に内蔵バッテリーを組み込んであるタイプがオススメだが、大抵の有名メーカーの製品ならバッテリー内蔵式が採用されているはずだ。もちろんバッテリーが内蔵されているからと言って必ず盗難を防げるわけではない。だが、長時間に渡って警報が鳴り響けば、犯人もひるむはずだ。さらにショックセンサーやボンネ



狙われやすいクルマのトップクラスだったインプレッサもモデルチェンジを控えてタマ数が減りつつある。その分レガシイが狙われている傾向にあるのだとか

ども装備されていればベスト。ショックセンサーは車両の振動を感じして警報を鳴らすし、ボンネットセンサーはバッテリーを外そうとしてボンネットを開けようとするば鳴る仕組み。リーダーセンサーは車両に接触しなくても、数十cmまで近づいただけで警報が鳴るシステムだ。

ただし、どんなセキュリティシステムもかなり複雑な配線技術が必要で、素人がDIY感覚で装着できるものは少ない。仮にDIYで取り付けても、ちょっとした配線が雑だと誤作動する恐れもある。現在ではさまざまな機能が付加されたものも多く、価格も幅広い。しっかりと取り付けを行ない、どんなシステムがマッチしているかをアドバイスしてもらったためにも、信頼のおけるショップに依頼することをお勧めしておく。と同時に、安心を買うつもりで